

## 【事業実績】

- ・修復した里浜貝塚出土資料(縄文土器)の公開

- ・野蒜築港見学会開催(2019.11.10 参加者:30名)

- ・座談会「明治三大築港のいま、そしてこれから」開催(2019.12.8 参加者:62名)

三国港、三角港における築港事業と比較することで、野蒜築港の壮大な事業の理解が進んだ。その上で、「幻の港」となった野蒜築港の遺構の保存と豊富な資料の活用を図る必要性と、築港資料室の再興を望む声が多く聞かれた。また、野蒜築港の活用プランや「三国・三角との交流を継続・発展させたい」といった積極的な声も聞かれ、野蒜築港の価値と魅力を再認識し、保存・活用への機運を高める場となった。

- ・講演会「宮戸の薬師堂」開催(2020.2.8 参加者:95名)

大正4年に県営松島公園の整備の一環として建立された「大高森薬師堂」だが、松島四大観の一つ「大高森」への散策ルート上にあるにもかかわらず、その由緒や歴史については地元でもあまり知られてこなかった。建立から100年を経て行われた改修工事の完了を期に、建立の意図や建築物としての価値、またその背景にある平安時代から続く東北地方の薬師信仰など、歴史的意義を理解するとともに、新たな観光資源としての価値を見出すことができた。安置されている薬師像や建築物としての特徴などから、建立の意図を知り、活用の方策を探るとともに、宮戸の歴史や伝統を学ぶ機会を求める声が多く聞かれた。

- ・奥松島文化財ガイドマップ(繁体字版)の作成、配布(3,000部)

- ・東名運河解説パンフレット(英語・繁体字・韓国語版)の作成、配布(各3,000部)

- ・史跡里浜貝塚解説書(英語版・簡体中国語・韓国語版)の奥松島縄文村歴史資料館HPへの掲載

(<http://www.satohama-jomon.jp/satohama/index.html>)